

せいび

9月14日発行

第6号



子どもたちの登下校を見直してください

夏休み明け残暑が厳しい中ですが、前期の後半がスタートしました。子どもたちは運動会に向けて、今全力投球しています。毎日汗びっしょりになり疲れて帰ってくることでしょう。そのためか、体調を崩す子も増えています。疲れをとり元気に登校できるよう、ご家庭でも十分に睡眠をとって体調管理に努めていただけると有り難いです。

さて、先日地域の方から2件ほど学校に要望がありました。1つめは通学路の件です。子どもたちが登下校に使用している階段に水がしみ出しているため、夏は苔が生え、冬は凍結して滑るためとても危険であるとのことでした。地域の方も凍結防止剤をまいてくれたり、苔を落としてくれたりと気に掛けてくださっているのですがどうにもならないとのことでした。通学路は本来、学校が決めるものではなく、保護者が決めるものです。だからといって危険と分かっている場所を通ることに学校が黙認するわけにはいきません。他にもきっと危険箇所はあると思います。そこで、1度お子さんと一緒に通学路を歩いてみてはいかがでしょうか。そこで発見された危険があれば、学校と一緒に考えていきたいと思えます。

2つめは集団登校と集団下校の在り方です。学校には通学班という縦割り班（1年生から6年生まで異学年で構成する班）があります。長期休業が開けた後はしばらく集団登校を実施しています。また、ポプラの日を含め、下校時間が早まる時は集団下校を実施しています。集団登校下校の意味はいくつかあります。まず、上学年が下学年に優しく接するようになり、下学年が上学年の話聞くようになります。今消えつつある昔のガキ大将が自分の仲間を守る世界です。また、集団で登下校することで、不審者対応や危険時にみんなで対応する力が身につきます。災害時にも、地区の人数確認や安否確認にも役立ちます。このような観点で学校は集団登校・集団下校を実施しています。ところが、最近、集団登校の日に車で送ってきたり、集団下校なのに迎えに来たりする場面が多く見られます。そのため、雨の中一人で登校したり集団下校が一人になってしまったりと、大変危険な場となってしまっています。集団登校や集団下校の日は事前に学校だよりや学年便りでお伝えしてありますので、その日は送迎をできるだけ控えていただければ幸いです。

学校も家庭も一番大切にしなければならないことは子どもの安全だと思います。「安全・安心・おもしろい」学校を家庭・地域・学校の連携で作って行きたいと思えます。

稲刈り～すくすく育った稲穂～



9月10日（土）学友会会長 藤曲喜雄様に田んぼをお借りし、田植えをした稲の収穫を行いました。初めて体験する子も多かったのですが、ドキドキしましたが、指導の甲斐あって上手に収穫できました。米作りの大変さが体験できた1日でした。5年生が作ったお米は、これから総合で使ったり給食で利用したりします。早くおいしい新米が食べたいですね。

成美小 Best Photo Selection



7/22不審者対応防犯教室



9/1 防災訓練



大きなカボチャ



やる気の玉入れ 事務室